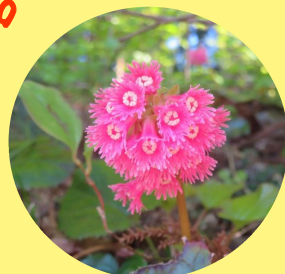
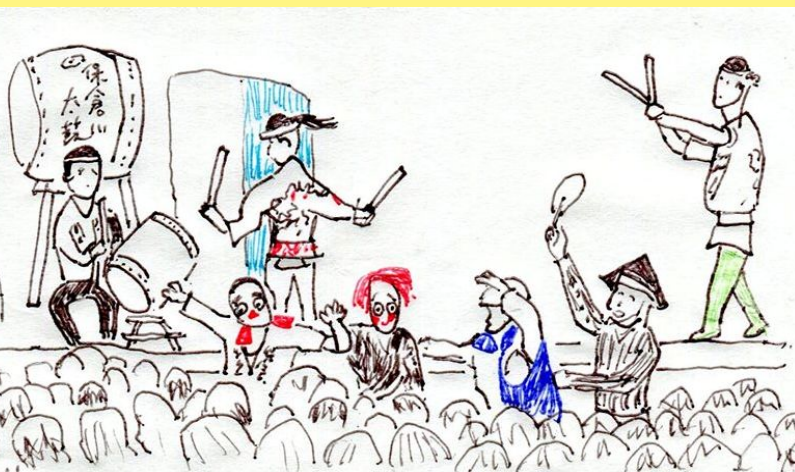




はしづめ法一はこんな人間です。
 はしづめ法一は山が好き、
 空が好き、写真が好き、絵を描くことが好き、
 文章を書くことが好き、食べるものが好き、
 そして何よりも人間が好きです。
 この上越が大好きです。



【主な経歴】 ●1950(昭和25)年、旧東頸城郡旭村生まれ、旧中頸城郡吉川町で育つ。 ●源中学校、県立高田高校を経て新潟大学卒業。 ●28歳で旧吉川町議当選、7期務める。2005(平成17)年2月に上越市議になる。4期連続当選。中山間地対策特別委員長、総務常任委員会副委員長などを歴任。議員生活35年以上で総務大臣より表彰される。 ●「幸せめった」「春よ来い」など著書7冊。 ●家族は母、妻、一女、二男。 ●吉川区代石在住。69歳。



はしづめ法一

日本共産党

のりかたず

上越民報

市民の暮らしと地域を守ります

2020年号外 [発行]日本共産党上越市委員会 / 上越市五智1-21-12
 日本共産党の見解を紹介します。 [連絡先] 電話543-1890 Fax543-1875

市民の立場からズバリもの言う市議として

みなさんと力を合わせがんばってきました



- 市民や地域協議会などと力を合わせ、頸北斎場存続へ。
- 柏崎刈羽原発の再稼働反対の論陣を張り、運動の先頭に。放射線モニタリングポストの数値を夜間も表示へ。
- 災害が発生すると、すぐに現地に向けつけ、被災者に寄り添って行動。要援護世帯除雪費補助制度の改善に尽力。



●市民サービス切り捨ての「行政改革」に正面から切り込み、中学生の広島平和記念式典への派遣事業縮小、総合事務所の夜間無人化などで論戦。

●国政選挙や知事選などで、市民と野党の共同の発展のために力をそそぐ。

●議会の様子などを伝える毎週発行の活動レポートは、もうすぐ2000号に。



市民こそ主人公の市政へ はしづめ法一の5つのお約束

一、厚生労働省の公立・公的病院切り捨て攻撃に党派を超えた力を結集して反対し、柿崎病院、妙高病院、松代病院などをまもります。

二、全国市長会や町村会も主張している「国民健康保険への1兆円の公費投入」を求めていきます。

また、赤ちゃんにまで負担させる国保税の均等割を廃止させ、負担を軽くします。

三、全国各地で実施されている「百円バス」を本格的に検討し、公共交通を充実させます。

四、各区で「○○区10年計画」を策定できるようにし、その実現のために努力します。

五、広島平和記念式典への中学生派遣を増やすなど、非核平和友好都市宣言にふさわしく平和予算を充実させます。